

**令和5年度**  
**八街商工会議所経営発達支援計画事業評価**  
＜令和5年4月～令和6年3月＞

経営発達支援事業の内容

**3-1. 地域の経済動向調査に関すること**

**(取り組み内容)**

①地域経済分析システム「RESAS」の活用

経営指導員が地域経済分析システム「RESAS」を活用した八街市の経済動向分析を行い、年1回、公表する。

②管内の小規模事業者30社に景気動向調査を実施する。

千葉県商工会議所連合会の景気動向調査を参考に八街商工会議所独自の調査項目を設定する。

【調査回数】年4回

【調査対象】管内30社（製造5社・建設6社・卸売4社・小売10社・サービス5社）

【調査項目】売上額・仕入価格・経常利益・資金繰り・設備投資・雇用

※労働人口減少に備え、雇用についてはパートアルバイト賃金・求人募集状況等も含む。

【調査手法】商工会議所の各部会（業種別の部会）担当職員が、調査票をメールや窓口、FAX等で回収する。

調査結果はホームページに公開する。

経営指導員等が巡回指導・窓口相談を行う際の参考資料とする。

八街市と情報を共有化し、八街市の中小企業施策等に活用する。

**(目標と実績)**

	R5目標	R5実績	評価
① 公表回数（RESAS 関連）	1回	1回	○
② 公表回数（景気動向調査）	4回	4回	○

**(課題と対応)**

- ① については、日本商工会議所が実施している RESAS を活用した地域経済分析（地域診断サービス）を活用し、作成したものを会議所ホームページで公開する。
- ② については、年4回実施、会議所ニュースに掲載したほか、会議所ホームページで公開した。（4回目はR6年4月に回収した）

**3-2. 需要動向調査に関すること**

**(取り組み内容)**

- ① 八街産の特産品（落花生、人参、生姜等）を使った新商品の需要動向に関する調査の実施。  
各店舗で来店者に対する試食、アンケート、事業所の従業員に対して試食、アンケートを実施する他、市内外からの観光入込客数の多い「八街市産業まつり」等において試食、アンケートを実施する。
- ② 展示会出展による需要動向調査  
県内の5つの信用金庫が共同で毎年開催する「食の商談会」、「FOODEX JAPAN」の国際展示会等にできるだけ出展していただき、バイヤーからアンケート調査を実施する。

**(目標と実績)**

支援内容	R5目標	R5実績	評価
新商品調査 対象事業者数	3社	—	—
展示会 調査対象事業者数	4社	0社	×

**(課題と対応)**

- ① については新商品の試食、アンケートは実施できませんでした。
- ② については「FOODEX JAPAN2023」の出店案内を会議所ホームページに掲載している他、巡回によりPRをした。

#### 4. 経営状況の分析に関すること

##### (取り組み内容)

##### ①経営分析セミナー時の経営分析

【対象者】1回のセミナーにつき参加者の中から販路拡大・事業継続に意欲的な企業3社を選定。年2回開催する。

##### 【情報収集する項目】

<定量分析>決算書類からの財務分析

売上高・経常利益・損益分岐点・粗利益率・労働生産性等

<定性分析>SWOT分析

自社の強味、弱み、脅威等

【分析手法】経済産業省の「ローカルベンチマーク」、中小機構の「経営自己システム」等を活用し、経営指導員が分析を行う。

なお、専門的な課題等の専門相談支援については、中小企業診断士等の専門相談員や（公財）千葉県産業振興センター、よろず支援拠点、ミラサポの活用や日本政策金融公庫、市内金融機関と連携し、小規模事業者の抱える経営上の悩みに対してより丁寧にサポートを行い、企業の育成を目指す。

##### ②巡回・窓口相談時の経営分析

経営指導員による巡回時、窓口相談時に環境変化による経営分析の必要性を説明し、定量分析に必要な財務関係書類を提出してもらう。また、定性分析のための職員統一のヒアリングシートを作成し記入してもらう。

【対象者】巡回・窓口相談の際に販路拡大、事業継続に意欲的な企業3社（R3年度）

##### 【情報収集する項目】

<定量分析>決算書類からの財務分析

売上高・経常利益・損益分岐点・粗利益率・労働生産性等

<定性分析>SWOT分析

自社の強み、弱み、脅威等

【分析手法】経済産業省の「ローカルベンチマーク」、中小機構の「経営自己診断システム」等を活用し、経営指導員が分析を行う。

##### (目標と実績)

	R5目標	R5実績	評価
セミナー開催件数	2回	1回	△
① 経営分析セミナー参加者の分析件数	4件	0件	×
② 巡回・窓口相談からの分析件数	9件	7件	△

経営分析件数合計①+②	13件	7件	△
-------------	-----	----	---

**(課題と対応)**

- ・経営分析・事業計画策定セミナーを11月7日に開催した。  
参加者数：14名
- ・経営分析についてはローカルベンチマークで7件実施した。

**(成果の活用)**

- ・分析結果は、当該事業者にわかりやすく説明し、活用方法等も提示する。
- ・事業所ごとに、データベース化し、継続的にかつ、中長期的に分析できるようにする。
- ・定性分析、定量分析共に、経営指導員間で同じフォーマットで作成し、データベース化することにより、情報共有しやすくし、効率良く分析に取り組む。

**5. 事業計画策定支援に関すること**

**(取り組み内容)**

経営分析を行った事業者や過去に小規模事業者持続化補助金の申請を考えている事業所を対象とした「事業計画策定セミナー」を開催する。

募集方法：会議所ニュース、会議所ホームページ、八街市の広報誌「広報やちまた」に掲載

回数：年1～2回程度

カリキュラム：事業計画作成の重要性、作成のポイント、実務に役立てる事業計画等のセミナー内容にする。

**(目標と実績)**

支援内容	R5目標	R5実績	評価
事業計画策定件数	7件	13件	○

**(課題と対応)**

- ・経営分析・事業計画策定セミナーを11月7日に開催した。
- ・実績には、持続化補助金申込者への支援13件を含む。

**6. 事業計画策定後の実施支援に関すること**

**(取り組み内容)**

事業計画策定12社のうち、4社は毎月1回、4社は四半期に1度(年4回)、他の4社については年2回とする。事業者からの申出等により、臨機応変に対応する。なお、事業計画と事業進捗状況にズレが生じている場合は、原因を究明するため、専門家の派遣など第三者の視点を必ず投入し、原因及び今後の対応方策を検討の上、フォローアップ頻度の変更等を行う。

事業者には、自身で中小機構の「経営自己診断システム」を活用できるように支援し、事業者自身で経営診断を行い、事業者自身が分析できるように指導し、フォローアップの頻度を減らしていく。

(目標と実績)

	R5 目標	R5 実績	評 価
フォローアップ 対象事業者数	12社	13社	○
頻度 (延回数)	72回	26回	△
売上増加事業所数	3社	—	—
利益率3%以上 増加の事業所数	3社	—	—

(課題と対応)

- ・事業計画策定事業者の件数が少ない状況。

7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

(取り組み内容)

会議所が自前で展示会を開催するのは困難なため、首都圏で開催される既存の展示会への出展を目指す。

- ①市の特産品である落花生・人参・生姜等の地域資源で新商品開発し、新たな販路を求める。
- ②IT (SNS 等) を活用し、市内外に新たな販路を求める。

(目標と実績)

①FOODEX JAPAN 等の展示会出展による新たな需要開拓事業

支援内容	R5 目標	R5 実績	評 価
プレゼン術・交渉術セミナー	1回	—	—
セミナー参加企業	5社	—	—



FOODEX JAPAN 参加事業者数	2社	—	—
成立件数/社	2社	—	—

※BtoB の商談を想定しているため、成約件数の目標を設定。

**(課題と対応)**

- ・今年度は実施できませんでした。
- ・FOODEX JAPAN についてはHPや巡回時にPRしている。
- ②IT (SNS等) 活用による需要開拓事業
- ・IT (SNS等) 活用の需要開拓セミナーを開催する。
- ・フォローアップとして、セミナー参加企業のうち3社程度を対象にホームページ作成とその後の販路開拓まで支援する。
- ・専門性の高い支援には、千葉県よろず支援拠点を活用する。

**(目標と実績)**

	R5 目標	R5 実績	評 価
IT 活用による需要開拓セミナー開催回数	1 回	1 回	○
セミナー参加企業	10 社	8 社	○
売上増加企業	3 社	—	—
売上額/社	月商 3%の売上増	—	—

**(課題と対応)**

- ・創業販路開拓セミナー (ChatGPT 爆速販促セミナー) を令和 5 年 9 月 8 日に開催した。参加者 8 名

**経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組**

**8. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること**

**(取り組み内容)**

八街市担当職員 1 名、当所の法定経営指導員 2 名、中小企業診断士 1 名の外部有識者による「協議会」で、半期ごとに、経営発達支援事業の進捗状況等について評価を行う。

事業の成果・評価・見直しの結果については常議員会 (当所役員会) へ報告し、評価・見直しの結果を八街商工会議所のホームページへ掲載した。

**(課題と対応)**

- ・事業評価協議会を 11 月 2 日に開催した。

**9. 経営指導員等の資質向上に関すること**

**(取り組み内容)**

- ①外部講習会等の積極的な活用
- ②職員間の定期ミーティングの開催

③市商工観光課との連絡会議の報告

④指導経過（申し送り事項）をわかるように書類に残す。

**(課題と対応)**

①県連や千葉県等が主催する研修は、これまで通り参加する他、本経営発達支援事業を遂行する上で、不足しているノウハウを習得するために日本商工会議所で開催する研修に参加。

＜参加研修＞

・中小企業大学校研修

令和5年11月13日～12月8日 1名参加

・千葉県商工会議所連合会主催研修

令和5年 7月12日 経営一般コース 1名参加

令和5年 8月 3日 経営一般コース 1名参加

令和5年 8月10日 職員合同研修会 1名参加

令和5年 8月21日 経営専門コース 1名参加

令和5年 9月 6日 スキルアップ研修 2名参加

令和5年 9月14日 マネジメント研修 2名参加

令和5年 9月25日 事業承継研修 1名参加

令和5年10月 2日 経営一般コース 1名参加

令和5年10月13日 コンプライアンス研修 2名参加

令和5年12月 8日 スキルアップ研修 2名参加

②指導員研修会等へ出席した経営指導員が中心となり、経営支援の基礎について定期的なミーティングを開催。

＜開催日＞

令和5年 8月 4日

令和5年 9月15日

令和5年10月13日

令和5年12月11日

令和5年12月15日

③毎月1回市商工観光課と会議所で情報交換、意見交換の場として連絡会議を開催、情報を共有した。

＜開催日＞

令和5年 4月 4日

令和5年 5月 2日

令和5年 6月 1日

令和5年 7月 3日

令和5年 8月 1日

令和5年 9月 1日

令和5年10月 3日

令和5年11月 1日  
令和5年12月 1日  
令和6年 1月 5日  
令和6年 2月 1日  
令和6年 3月 4日

④項目ごとに専用ファイルに保管している。

## 10. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

### (取り組み内容)

#### ①市との行政連絡会議（年12回）

商工観光課と毎月1回開催している行政連絡会議においてさらに、小規模事業者への施策の改善や新規支援策の要望などを行っていく他、行政側から小規模事業者への支援制度の情報交換を行う。

#### ②日本政策金融公庫との情報交換会（年1回）

日本政策金融公庫と情報交換会を開催し、中小企業の金融動向を把握する。

#### ③(公財)千葉県産業振興センター・千葉県よろず支援拠点との連絡会議（年1回）

国・県・市の補助金等の経営支援メニューを活用するために、(公財)千葉県産業振興センターと八街市と定期的な情報交換会を開催し、新商品開発・事業承継・販路開拓等について情報収集を行い、支援に役立てた。

### (課題と対応)

- ① については、毎月開催し、情報交換を行った。
- ② については、令和5年11月6日に開催した。
- ③ については、令和5年11月6日に開催した。

## 地域の経済活性化に資する取組

### 11. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

#### (取り組み内容)

個店の売上を伸ばすための地域活性化についての協議を行う

商工会議所の地域開発委員会・商業振興委員会・工業振興委員会の3委員会、八街市商店会連合会、八街駅南口商店街振興組合で八街市の地域経済活性化について協議する（年1回）

#### (課題と対応)

- ・商店会連合会の総会時に、各商店会の近況報告があり、意見交換を行った。



